

図書館員のひみつの本棚 第 205 回

今月はノーベル文学賞作家の作品です。

『春の心臓』

イエイツ／著 芥川 龍之介／訳 ホノジロ トヲジ／絵 立東舎 2022年 ¥1800(税別)
933

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生★★★

高校★★★★ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

その生涯の全てを秘術に捧げた老人と彼に仕える17歳の少年。死を間近にし、老人はその秘術によって不死を得ようと、少年に手伝いを頼む。

ノーベル文学賞作家であるイエイツの作品を1914年に芥川龍之介が訳したものに、現代のイラストレーター、ホノジロトヲジがオールカラーのイラストをつけた本書。53ページと短いながらも心に残る物語と、幻想的なイラストが何度でも読み返したくなる。

<子どもに手渡す時のポイント>

文豪の名作に人気イラストレーターが描きおろしイラストをつけた「乙女の本棚シリーズ」の1冊。シリーズの他の作品には、『夢十夜』(夏目漱石)、『山月記』(中島敦)、『女生徒』(太宰治)などがあり、それぞれにゲームキャラクターなどをデザインしている人気イラストレーターが絵をつけています。シリーズに興味が出た生徒には、ぜひ、他の作品も手渡してみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。